



神石小だより

神石高原町立神石小学校
学校だより9月号
令和6年9月5日

2学期始業式

9月2日（月）、2学期始業式を行いました。校長からは「つづける」ことの大切さを中心に話がありました。2学期はいろいろな行事もあります。1つ1つの活動に目標をもち、目標に向かって「つづける」2学期にしていってほしいと思います。その後の教室ではそれぞれ目標を決める等しました。また、久しぶりの友達との再開に笑顔いっぱいでした。



ミニコンサート・夏まっさかり

7月27日（土）、金光ウインドアンサンブルさんと合同でミニコンサートを行いました。当日は朝から金光ウインドアンサンブルさんと福本さんに指導をしてもらい、昼から合同練習をしてミニコンサートに臨みました。これまでの練習では、音がなかなかそろわなかったり、きれいな音がでなかったりしていましたが、指導のおかげで、ミニコンサートでは、これまでで一番の演奏ができたのではないかと思います。また、その後の夏まっさかりでは、オープニングを飾らせていただきました。笑顔で演奏する子供達の様子は、夏まっさかりのオープニングにぴったりだったのではないかと感じています。指導及び合同コンサートを行っていただいた金光ウインドアンサンブルのみなさま、鑑賞いただいた来賓、地域、保護者のみなさま、ありがとうございました。



おいづる集会

7月12日（金）折り鶴集会をしました。図書委員会による読み聞かせを聞き、折り鶴を折りました。平和について考える、とても充実した時間だったのではないかと感じます。児童が折った折り鶴は、8月21日（水）に、本校代表児童3名が神石高原「平和の千羽鶴運動」に参加し、平和公園に献呈しました。



「つづける」ことで大きな実をつけよう！

長い夏休みが終わり、二学期がスタートしました。二学期は、学習発表会やマラソン大会など多くの行事があるとともに、一学期までに培ってきた力を発揮し、友達とかかわりあいながら、多くの学びを得る時期でもあります。そのような時期だからこそ、「つづける」ということにこだわりながら学校生活を過ごしてほしいと思っています。

続けることは力になる。だからこそ、続けることは大事なことだということを表す「継続は力なり」という言葉があります。一方、反対に、続けることの難しさを考えさせる詩もあります。相田みつをさんという方が次のように表しています。「そのうちそのうち弁解しながら 日がくれる」「やれなかった やらなかった どちらかな」というものです。何かに挑戦しよう、目標をもって取り組みようとしても、すぐにあきらめたり、いやなことをすぐに後にまわそうとしたりすると、すぐに時間だけが経ってしまう。「できなかった」のは、やろうとしてもできなかったのか、そもそもやる気がなかったのかというものを問った詩です。相田さんの詩にあるような弱い気持ちはたびたび私たちの心の中に生まれてくるものですが、一度決めたことは最後まであきらめないで頑張ろうとする強い気持ちをもつことも大事です。結果が必ずついてくるとは限りません。しかし、「頑張った」ということは、何らかの形で自分の力となっているはずですよ。

学校長 田丸 栄

1年生の児童がいずみ保育所園児のみなさんと交流会をしました。国語の授業で学習した「おむすびころりん」の音読劇を発表し、児童が考えた遊びを園児のみなさんとやりました。園児のみなさんからは、「とても楽しかった。」「またやりたい。」と、うれしい感想をもらいました。



保健委員会の児童が大切に育てたマリーゴールドを役場神石支所、神石協働支援センター、神石郵便局に飾っていただきました。「明るくなってうれしいです。大切に育てます。」と温かい言葉をいただきました。



9月の主な行事予定

2日（月）	始業式	25日（水）	町陸上記録会（5・6年生）
10日（火）	参観日（祖父母参観）	予備日	※詳細は、学級通信でお知らせいたします。
20日（金）	本物体験活動	27日（金）	

いじめ、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口について
神石小学校に相談窓口を設置しております。児童や教職員に関して相談の窓口を設けています。小さな事でもご相談ください。担当は、高橋教頭・里道教諭・重松養護教諭です。

神石小学校の教育活動をホームページでも公開していますので、ご覧ください。

jinsekigun.jp/school/jinsekisho/